

令和5年度 学校評価書

松前町立岡田小学校

【評価基準】 A:80%以上達成 B:60%以上達成 C:60%未満

【アンケートの評価規準】◎:80%以上が肯定 ○:60%以上が肯定 △:60%未満が肯定

項目	小項目(重点目標)	設問番号	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	評価	アンケート結果			
								肯定		否定	
								1	2	3	4
よく考え、よく学ぶ子	○生きて働く知識と技能 ○思考力・判断力・表現力 ○主体的・対話的で深い学び	1	児童が目当てをもって主体的に学習に取り組む指導や特別支援教育の視点に立った指導を行い、分かる楽しい授業を心掛けた。 目標値:教職員、児童、保護者の80%以上が肯定(1・2)	A	○設問1では、教職員の肯定率が昨年度よりも7%上昇した。国語科を中心にして、タブレットの活用を含めた研究を進め、主体的・対話的で深い学びへと学習を展開する努力をしている。加えて、児童の約1/7が、学びの楽しさを味わえていないという結果を真摯に受け止め、個に応じた学びを模索していく。 ○設問2では、「あてはまる」と回答した児童の割合が、昨年度より8%上昇している。日々の授業の工夫と継続的な家庭学習の取組の効果が表れているものと思われる。とはいえ、昨年度と同様に約20%の児童が「わからない」と回答していることを受け止め、さらなる授業改善を図りながら、学級担任や専科教員が協力して、個に応じた丁寧な指導・支援をしていきたい。 ○設問3では、三者ともに昨年度と同程度の結果になっている。課題の与え方を工夫したり児童が学習に取り組む意識を高めたりしながら、より一層、学校と家庭が連携して見届けを行い、適切な学習習慣の定着を目指していく。	教職員アンケート	◎	19%	68%	13%	0%
		2	学力の定着を目指し、思考力・表現力の育成や基礎・基本の理解を図ることに努めた。 目標値:教職員、児童、保護者の80%以上が肯定(1・2)	A		教職員アンケート	◎	17%	77%	6%	0%
		3	家庭と連携し、家庭学習が身に付くように努めた。 目標値:教職員、児童、保護者の80%以上が肯定(1・2)	A		児童アンケート	○	43%	34%	20%	3%
						保護者アンケート	◎	43%	54%	3%	0%
						教職員アンケート	◎	31%	58%	10%	1%
						児童アンケート	◎	29%	65%	6%	0%
						保護者アンケート	◎	53%	30%	15%	2%
						保護者アンケート	◎	24%	60%	14%	2%
		※は教職員のみへの働き方に関する設問	※	実効性のある業務改善に取り組み、児童一人一人に向き合う時間の確保やワークライフバランスに努めた。		B	○業務改善と教職員の意識改革の成果が少しずつ表れている。今後も、「勤務時間と職務の縮減」と「教職員としてのやりがいの維持」のバランスを取りながら、業務改善の努力を続けていかなければならない。	教職員アンケート	○	26%	39%
思いやりのある子	○認め合い、支え合い、高め合う集団 ○いじめを許さない子どもと教師 ○人権・同和教育、特別支援教育	4・5	家庭・地域と連携して心のこもった挨拶ができる児童を育てることに努めた。 目標値:教職員、児童、保護者の80%以上が肯定(1・2)	A	○設問4の児童と教職員、設問5の児童の数値が上昇している。今年度は、挨拶について、運営委員会による呼び掛けや保護者アンケートでの実態調査を基にした教職員の指導等を重点的に行った。旗幟番で見守ってくださる保護者の皆様や地域の見守り隊の皆様から、挨拶がよくできるようになったとお褒めの言葉をいただいている。地域や家庭での励ましの声掛けにより、成果が得られていることに感謝したい。 ○設問6と設問7では、三者ともに数値がわずかに下降している。全体的に肯定的な回答が多いものの、個々に様々なトラブルや悩みを乗り越えて学校生活を送っている様子が見える。学年の発達段階に合わせてケースバイケースで指導・支援をしていきたい。また、保護者との連携で解決し、子どもたちのよりよい成長につながった例も多かった。今後も、成長途中の子どもたちを温かく広い視野で見守り、支援していただけるようお願いしていきたい。 ○設問8では、9割以上の保護者が、学校での子どもの学びを肯定的に捉えていることが分かる。家庭での子どもとの会話に、その楽しさが表れていると考えられる。保護者の学校教育に対する協力的な姿勢が、子どもたちの成長に大きく寄与していることに感謝したい。 ○設問9(心配なこと)では、「心配なことがたまにあって気になる」「心配なことがわりとよくある」を合わせると、約15%だった。1クラスにおよそ4人か5人の割合になる。数値は昨年度とほぼ同様だが、その内容や経緯は様々である。学級担任は、一人一人の児童としっかりと向き合い、個に応じた対応に努めている。	教職員アンケート	◎	29%	55%	16%	0%
						児童アンケート(家族)	◎	59%	34%	5%	2%
						児童アンケート(地域)	◎	74%	20%	5%	1%
						保護者アンケート(家族)	◎	39%	50%	10%	1%
						保護者アンケート(地域)	○	34%	43%	18%	5%
						教職員アンケート	◎	32%	58%	10%	0%
						児童アンケート	◎	47%	41%	10%	2%
						保護者アンケート	◎	51%	44%	5%	0%
						教職員アンケート	◎	17%	77%	6%	0%
						児童アンケート	◎	67%	26%	5%	2%
						保護者アンケート	◎	53%	45%	2%	0%
								児童アンケート(楽しさ)	◎	71%	22%
					保護者アンケート(楽しさ)	◎	55%	39%	6%	0%	
					児童アンケート(心配事)	◎	68%	17%	11%	4%	
					教職員アンケート(相談体制)	◎	45%	55%	0%	0%	
					児童アンケート(相談体制)	○	57%	18%	12%	13%	
					保護者アンケート(相談体制)	◎	49%	45%	5%	1%	
			児童・保護者が相談しやすい体制を整え、いじめ・不登校・非行問題などへの積極的対応を心掛けた。 目標値:教職員、児童、保護者の80%以上が肯定(1・2)	A	○設問9(相談体制)の児童では、「あまり困っていない」が10%近く増えている。悩みごと・困りごとがない方がよいとは一概に言えないが、安定した学校生活を送っている児童が増えたと言える。一方、「相談していない」が13%と昨年度とほぼ同様であった。学級担任を含めて様々な立場の教職員が、児童との信頼関係を深め、児童が「困ったときにはいつでも相談できる・相談を聞いてくれる」という安心感に包まれるように、さらに努力していきたい。						
学校関係者評価委員の所見	○勉強が楽しい・よく分かると答える児童の割合が高く、すばらしいと思います。 ○学習の理解度や挨拶の仕方には個人差があるようです。 ○タブレットを活用した学習は、積極的に行っていたと思います。 ○特別に秀でた能力を持つ児童への対応が大切だと思います。 ○20%の児童が分からないと答えています。家庭と協力して指導をお願いします。 ○学習は学校教育のベースとなることです。これからも楽しく分かる授業をお願いします。 ○文章力を鍛える取組は、近い将来、社会人になってからも役立っていきます。 ○人間関係のトラブルは時々見受けられますが、友達を思う気持ちや優しい気持ちはそれぞれ持っていると思います。豊かな心は、学校生活や地域での生活の中で育ててほしいと思います。それに関わる私たちがサポートをできたらと思います。 ○松前町では、働く外国の方が増えています。児童の中では国際化が当たり前になっていく中、地域の大人も国際化と多様性を積極的に認めていけるとよいなと思います。 ○相談体制が整っていてよいと思いますが、相談できにくい児童へのきめの細かい支援を望みます。 ○思いやりの心は、家庭内で育まれる部分が多いです。学校では、集団生活の中で育つものとして、しっかりと教育していただきたいです。 ○個々に悩みを抱える児童への多様な対応をお願いします。 ○多様な児童に対して、教職員が少しでも理解を高めようとする姿勢がうかがえます。				学校の対応	○タブレットの活用は、様々な教科等でどのような活用方法があるか試行を積み重ねてきた。それに伴い、活用の幅が広がり質も向上している。加えて、児童もタブレットを活用するよさを実感し、使い方に慣れてきている。今後も、学習のねらいを達成するための一つの手段や方法として位置付け、学習内容の定着とねらいとする力を育むために最適な学習方法を模索していきたい。					
	○上述しているように、本校では、国語科を中心にしてテキストを的確に読み取り、豊かな語彙力を基に、自分の考えを形成する力を育む研究を進めている。研究内容を日々の授業に落とし込み、児童にとって「楽しく分かる授業」を目指して、日々取り組んでいきたい。					○学級担任はもとより、児童の教育に携わる全教職員が、それぞれの立場を生かして、児童の健全育成にかかわっていく。加えて、家庭や地域との具体的で実のある連携を充実して、それぞれの役割を自覚しながら一体となって健全育成を推進していきたい。					
					○近年、児童や家庭が抱える問題や悩みも多様化している。学校としての役割を再認識し、地域や他の相談機関とも連携しながら、きめの細かい対応をしていきたい。						
					○本校区は教育力が強く、地域の方々や保護者による見守り活動のおかげで、登下校の安全が図られている。教職員も分担して定期的な登下校指導をしている。不審者事案の発生時には、見守り活動をその都度強化していただき、大変有り難い。登下校時の児童間のトラブル等において、学校で詳細に事情を聞き、指導している。						

